

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2021年12月21日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.118

<ある事象を把握する！>

2021年も残すところ、2週間を切りました。今年の締めくくりということで、コンサルタントとして、私は現実をどう見ているのかをお伝えしたいと思います。

例えば、総務省から毎年、生活意識調査が出ますが、そのデータをどう見るかということから、考えたいと思います。

まず、基本的な思考の土俵は、「学習塾経営にとって、このデータは何を語っているのか」という視点です。データを漠然と見ている、何も見えてきませんから、経年で、つまり各年を比較しながらデータを見るということです。そして、その年ごとに政府は何をしてきたか、社会現象として何が起こったかを考えながら、仮説を立てます。

全体の流れの後に、子ども世帯の意識、母子世帯の意識の変化を見ていきます。そこでデータの読み取りを終わる場合もありますが、根拠になるデータを探して、その裏付けもとります。

それでは、実際に、少し見てみましょう。

生活意識全体の推移ですが、2015年から19年までは、大変苦しい・苦しいという合計の割合が、減少傾向にありました。ちなみに、2016年は56.6%で19年は54.4%になっています。2.2ポイント減少です。しかし、その中で、子どものいる世帯は、16年と19年は、62.0%から60.4%です。1.6ポイントの減少にとどまりました。そして、母子世帯においては、16年が82.7%で、19年が86.7%です。この流れと逆に、大幅に生活意識が苦しいと答えた世帯が増えているのです。

このデータから、次は、コロナ禍であった2020年・21年は、どうなのかと考えます。ちなみにそのデータはまだありません。2019年までは、東京オリンピック景気があり、アベノミクスと言われる経済政策を打っていた時期です。そして、コロナ禍が2年続いたわけです。

皆さんもわかるように、子どものいる世帯や母子世帯は、大変苦しい・苦しいという割合が増えているだろうことは、予想がつくはずですが。このように、仮説を立てて、さらなるデータを見、そして、自分の仮説の確かさを高めていくのです。

これは、データから考えた事例ですが、次は、社会現象から何を考えるかです。例えば、昨年のコロナ禍では、オンラインでのコミュニケーションやデジタルツールが普及しました。ここから、私たちは、人間関係の希薄さを指摘できますが、逆に言えば、低ストレス環境を獲得したとも言えるわけです。現象は、必ず両面性（アンビバレンツ：プラスの感情とマイナスの感情が両方ともある）がありますから、ここを考えることです。そして、それを一言でまとめるように考えるのです。そうすると、現象に対する理解が進みます。

こういう風に、私は、現実を理解するようにしています。皆さんの置かれた状況の把握をしっかりしてください。そして、来期に、備えてください。感情論で物事を解決する時代は過ぎました。論理的に考えることです。そのために、自分の目の前の現象をデータや主観的に考えた意味から、理解していきましょう。主観的な意味だからと言って、感情論ではありません。その意味を因果関係で説明がつくようにすることが論理です。ものの説明の順番がしっかりあることが論理ですから。色々な企画を立てる時に、参考にしてください。

【編集後記】

★問合せ多数につき映像化決定★
2022年1月下旬販売開始
「MBA20周年&中土井鉄信還暦 記念セミナー」
DVD 予約受付中！

中土井が20年間、あらゆる規模の学習塾をコンサルして蓄積したノウハウを一挙公開。塾経営の成功の秘訣を、2枚組・各収録時間120分以上のDVDにしました！

↓ DVD 先行予約特設サイトはこちらから ↓

<https://management-brain.net/kanrekiseminar/>

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.82-1

インターネットが普及し始めて以来この方、さまざまな分野の「アンケート調査」をよく目にするようになりました。コンサルティングをナリワイとしていますので、こうした調査にはかなりアンテナを立てているつもりです。

残念なのはこうした調査、とくに営業系の企業が行う調査にはときに、母集団が極端に小さかったり偏っていたり、ひどい場合には我田引水のために行っているのが透けて見える調査もあって、あまりアテにならないことです。ワイドショーがよくやる「18人中13人、72%が利用していました。すごいですねえ…」と似た、「コジツケ」の類ですね。

そうした中でずいぶんとしっかりした、興味深い調査を発見しました。朝日放送テレビ（株）とエー・ビー・シー開発（株）が共同で運営する「オンネラおうちラボ」がこの8月に実施した「子供の習い事に関する調査」です。対象は全国の小学生以下の子どもを持つ親、標本数は231。早速ご紹介しましょう。

●子どもにさせている習い事（複数回答）

水泳	41.7%
通信教育	21.7%
英会話	19.6%
学習塾	17.4%
体操、リトミック	17.4%

上位にランクした5つだけ挙げました。水泳がトップなのはわかりますが、学習系の通信教育、英会話、学習塾の中で塾が一番下。ちょっと不満です。

●1人当たりの習い事の費用（1ヶ月あたり）

5,000円未満	15.2%
5,000～10,000円未満	39.1%
10,000～15,000円未満	26.1%
15,000～20,000円未満	6.5%
20,000～30,000円未満	6.5%
30,000円以上	6.5%

させている習い事の百分率を足し算すると178.5%になりました。ということは、1人あたり1.8種類の習い事をしている計算です。

一番多いのは5千円から1万円未満。平均額は12,174円でした。1種類当たりを算出すると6,763円。こんなところでしょうね。

●昨年と比べて、習い事費用の変化

昨年より増えた	43.5%
昨年よりやや増えた	10.9%
あまり変わらない	41.3%
昨年よりやや減った	2.2%
昨年より減った	2.2%

昨年より「増えた」と「やや増えた」と合わせると54.4%。昨年も今年も同じコロナ禍の渦中です。そうした中で「増えた」「やや増えた」が半分以上あり、「減った」「やや減った」はわずか4.4%。

単純にお子さんの学年が上がったので増えたという可能性もありますが、ここはコロナが何らかの形、たとえば「自宅でゴロゴロさせておくのもかわいそう」「かといって友達と外で遊ばせるのも心配」「ならば比較的安全な場所で役に立つことを」という親心の形で影響していると見たほうがよさそうです。

●習い事についての悩み・お困りごとランキング（複数回答）

送り迎えが大変	52.2%
費用が高い	45.7%
準備やサポートが大変	34.8%
子どもが自由に使える時間が少ない	23.9%
いつまで続けられればいいのかわからない	19.6%

こちらも上位5つまで挙げました。やはり「送迎」がネックですね。ほかの習い事に比べスイミングの利用率が高いのは「送迎バス」の存在も一因、というのは私の持論ですが、スイミング業者の多くはバスを巡回させています。資本力が大きいのでできることなのですが…。

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.82-2

古い話を申し上げますと、90年代の後半、個別指導が急に拡大を始めました。この要因の1つも「送迎」だと私は考えています。統計をみると95年を境に専業主婦と有職主婦の割合が入れ替るんですね。集団指導には言うまでもなく定まった授業時間があります。専業主婦ならば授業に間に合うように送っていき、終業時間に迎えに行くことができる。が、有職主婦の場合は、なかなかそうはいかない。

で、自由に授業時間を選ぶことのできる個別指導が盛んに、というわけです。

じゃあ、半分以上の親が負担と思っている送迎を、少しでも減らすことのできる手段はないのか。

だれでも思いつくのはオンライン指導でしょう。

ただ、オンラインだけだとモチベーションの維持が難しい。

その意味で「公文」が最近始めた週1回は教室で、週1回はオンラインでという方式は注目に値します。

上手くいくようならいずれ、どこの塾でも「右へならい！」ということになるんじゃないでしょうか。

万人に共通する「危機」は社会を大きく転換させます。これまでの常識が非常識に、非常識が常識になることも稀ではありません。

冬期講習を控えて目の回るような毎日でしょうが一度、すべての事業を根底から見直してみるようお勧めしたいと思います。

PS・コンサルティング・システム

小林 弘典

学習塾専用テキスト& システム展示会 2022 新年度

01.18(火)～02.10(木) 全国17会場で開催

事前申込制 / 参加費無料 **特設サイトURL** https://kyouzai.info/event/new_year22/

詳しくは特設サイトへ



記載のQRコード、またはURLから特設サイトにアクセスいただけます。参加のお申し込みもこちらから。

現場の存やみをクリアにする

学習塾支援 システム&教材フェア

2022.01.18(火)【大阪府】阪急グランドビル

事前申込制 / 参加費無料 **特設サイトURL** https://kyouzai.info/event/new_year22/Osaka

詳しくは特設サイトへ



記載のQRコード、またはURLから特設サイトにアクセスいただけます。参加のお申し込みもこちらから。